

～姉妹都市交流事業～
郡山市と鳥取市の小学生が
制作した因州和紙作品を展示します



ターゲット 4.1



ターゲット 17.17

2023年12月6日
郡山市文化スポーツ部
国際政策課
課長 石井 章浩
TEL：924-3718

SDGs ターゲット 4.1 「2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。」

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

郡山市と鳥取市は、本市の伝統産業である「海老根和紙」と、鳥取市の伝統産業である「因州和紙」を活用した和紙交流事業を、両市の和紙の産地にある学校間で令和2（2020）年度より行っています。

今年度は、両市の小学生が、自分の住むまちの好きなところや紹介したいことをテーマに、因州和紙を活用して制作した和紙作品を、市役所本庁舎で展示します。

- 1 目的 両市の伝統産業である和紙を通して、相互に姉妹都市についての理解・交流を深める機会を提供し、伝統産業の維持・発展と地域ぐるみの交流を目指す。
- 2 参加校

4校	郡山市立海老根小学校	5・6年生	7名	
	郡山市立宮城小学校	5・6年生	9名	
	鳥取市立青谷小学校	3年生	25名	
	鳥取市立佐治小学校	6年生	9名	合計 50名
- 3 開催期間 12月12日（火）～12月26日（火）
平日 8：30～17：15（開庁日のみ）
- 4 場所 郡山市役所本庁舎2階 壁面アートスペース（1階ファミリーマートの上）

【児童が制作した和紙作品について（一部抜粋）】



2024（令和6）年に郡山市は市制施行100周年を迎えます！！

ひらけ 未来へ こおりやま

【因州和紙について】

因州和紙はおおよそ 1200 年ほど昔から、旧国名「因幡の国」（現在の鳥取県の東半分）で作られていた手すき和紙の総称です。現在では鳥取市の青谷町、佐治町で受け継がれ、製造されています。昭和 50（1975）年に、全国に先駆けて国の伝統的工芸品の指定を受けました。

※姉妹都市提携日：平成 17（2005）年 11 月 25 日

※この件について、各学校への取材はご遠慮願います。

※郡山市役所での展示終了後は、鳥取市役所での作品展示を 2/16（金）～2/28（水）で予定しています。